



山田洋次×吉永小百合×大泉洋が贈る「母と息子」の新たな出発の物語 映画「こんにちは、母さん」柳川先行上映会

山田洋次監督
北山雅康さん
登場予定



変わりゆく時代に、いつまでも変わらない親子を描く映画「こんにちは、母さん」。メガホンを取ったのは、柳川にルーツを持ち、時代と共に家族の姿を描き続けてきた山田洋次監督。91歳にして90本目の監督作となる本作で、令和を生きる等身大の親子を心情豊かに描きます。

主演を務めるのは、50年に渡って数々の山田監督作品に出演し、日本映画界を共にけん引してきた吉永小百合さん。その息子を演じるのは、数々の映画やNHK大河ドラマでの好演が記憶に新しい、人気俳優の大泉洋さんです。

今回の先行上映会は、本格的な映写機材を持ち込むので、白秋ホール自慢の巨大スクリーンで迫力ある映像を高画質で楽しむことができます。

また、当日は上映後に山田監督と出演する北山雅康さんが登場し、舞台あいさつを予定。日本映画史に残る新たな名作との呼び声高い作品を9月1日(金)の全国公開に先駆けて、柳川で堪能しませんか。

●日時 7月23日(日)午前10時30分開演(開場は30分前)

●入場料(全席指定) 全席指定1200円

●前売券販売 5月20日(土)午前10時から市民文化会館で販売開始(1人4枚まで)。当日は整理券の配布を予定

【上】【左】吉永小百合さんと大泉洋さんは本作が初共演【下】上映後には柳川にルーツを持つ山田監督が舞台あいさつする予定



©2023「こんにちは、母さん」製作委員会



水害の被害を視察する侍従海江田子爵ほか一行(大正10年6月、富安家文書)

今回紹介するのは、大正10年6月に発生した水害に関連する写真です。写真は、現在の三橋町に生まれ、明治20、30年代に福岡県会議員、その後衆議院議員となった富安保太郎(1864〜1931年)の家に伝えられたものです。河原に20人ほどが写っていて、写真の裏側には「侍従海江田子爵水害視察記念/大正十年六月廿七日於瀬高橋下/向左ヨリ神奈川県議長、富安保太郎/侍従海江田子爵/安河内県知事/吉原代議士/三善代議士/黒瀬警察部長/戸川山門郡長」と書かれています。これによって、侍従海江田子爵の水害視察に、随行した一行が瀬高橋(現みやま市)で撮影した写真だと分かります。「侍従海江田子爵」とは海江田幸吉のことで、天皇家から災害状況の視察のため遣わされていました。随行していたのは、衆議院議員の富安保太郎(山門郡・三池郡選出)と吉原正隆(三潞郡選出)、三好徳松(遠賀郡・鞍手郡・嘉穂郡選出)や安河内麻吉福岡県

大正10年6月水害の視察写真

柳川古文書館長 江島 香

知事、神崎勲福岡県会議長(築上郡選出)、戸川槌次郎山門郡長といった地元の有力者たちでした。
矢部川下流にかかる瀬高橋は、文政年間から木橋が架けられていましたが、たびたび洪水で流失しました。この大正10年6月27日に起こった水害で、筑後川は明治22年以来、矢部川は明治18年以來の大きな災害となり、福岡県内では死者18人、橋梁流失倒壊536件、堤防決壊502件、浸水家屋2万4900戸など甚大な被害が出ました。視察した一行の背景には大きな流木が写っていて、被害の大きさを見て取れる貴重な一枚となっています。
ちなみにこの写真を撮影したのは瀬高下庄にあった下川写真館です。大正10年7月2日付の「柳河新報」には「下川写真館の光栄」という見出しで「聖旨を奉じて水害視察の為め来県侍従海江田子爵一行を瀬高橋流失の跡に於て撮影の光栄に浴したり」という記事が掲載されています。

suito 定例イベント

詳しくは、同館の公式サイトで確認できます。

第3金曜 ロビーコンサート

●日時・料金 5月19日(金)午後7時～(約60分)、無料
●出演 ダニー馬場



第3木曜 木曜日にリニューアル リトミックひろば

●日時 5月18日(木)
①午前10時～(5カ月～1歳6カ月) ②午前11時～(1歳7カ月～3歳未満)
●料金 1組500円
●講師 CHIAKI

